

理研会報

発行
 印刷部 理科研究部
 事務局
 成田市幸町948-1
 成田小学校

本年度の諸行事を終えて

本年度の主な活動報告

間もなく昭和五十一年度も終わろうとしております。この中で本年度の主な活動状況について報告申し上げますと共に、研究部の円滑な運営のためご協力をいただいた関係各位に厚くお礼申し上げます。

一 教育研究推進
 教研は、その推進母体を各部会におき、各部会活動の中で、教員が研究員の計画的な研究が、その成果が日帯の指導に生かされていくことは本研科研究部の伝統であるといえます。

一 専科研究発表三部会
 各部会研究発表、会場で実験検査器具の展示会を行いました。

二 科学工夫展・論文・標本展
 全国とつながる工夫展・論文展は、各部会単位で精選されたものが都展に出品され、厳選された出品が都展に出品されました。

三 植物栽培の手引き発行
 このことにつきましては、昭和四十三年度に発行し、郡内諸先生方に活用していただいております。

四 理研会報の発行
 この理研会報は、今回で八十九号をむかえます。内容は、教材研究、学習指導法、実験方法等、理論と実践を折り返し、又教育課程の方向をとりあげ、更に学校現場の紹介や各部会活動を掲載して本日まで歩んできました。

五 植物栽培の手引き改訂
 植物栽培の手引き改訂にあたって

本研究所は先に植物栽培の手引を発行し、郡市内の小学校の先生方に活用していただいております。その後、故にわたる教科書の改訂等を経て、当初の発行のねらいが指導の現実と合致しない点等が研究部内部で論議され、今回の作業に力をつくした次第であります。

六 植物栽培の手引き改訂
 植物栽培の手引き改訂にあたって

指導のポイント、植物個体の特長や楽しい展開のための話しの種等を盛りこんだらどうかと考へてあります。

1. 個体の説明やエピソード
 2. 栽培の方法、世代を通して
 3. 指導のポイント
 4. その他

こんな項目で執筆委員の合意を得てあります。

執筆作業は現在迫りこみ入り、三月中には是非印刷製本へ持ちこたえたいと思っております。

執筆委員の両名が作業分担については手引発行の時にせたいと思っております。

執筆委員の両名が作業分担については手引発行の時にせたいと思っております。

自作教具の開発
 流れのほたけらぎと地層

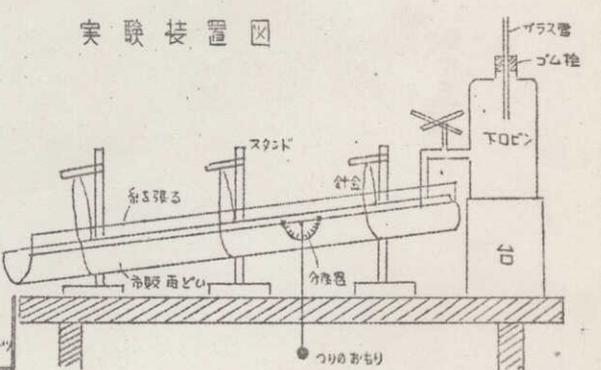
八街中央中 山本 英雄
 流水の観察作用の学習では、泉際の河川を屋外で観察しつつ学習することが困難であること、条件制約の下でのモデル実験による生徒の思考の発展が求められていること等から、教科書(大日本)に記したモデル実験を組んでみたが、必ずしも十分なデータが収集できず、そこで、手製に手に入る材料で工夫してみた。

実験装置
 流水の調節

流水の調節は、モデル化された河川であることを前提として考えれば、表面流速で十分である。問題は流速の測定誤差をどうにか小さくすることができかねる。コルク粒の粉、発泡スチロール、油紙片等々、いろいろ試してみましたが、オレイン酸をスタン皿で着色した液を点滴して測定してやると好結果が出るし、他の方法の場合のように、流速が非常に少ない場合は、測定ができません。

あ と が き
 本年度の主な活動報告

本年度の主な活動報告



この場合は、測定ができません。ともなく、流速と流速の関係の定量化に十分配慮される。

(4) 波(形)の防止
 表面に波立つ現象を防止するには、大型のメスシリンダーを浄用ブラシを流路上部に入れてやるだけで、かなりの効果がある。

(5) おわりにあたって
 当面の装置が流速の測定をより正確に、そして、どんなに流速が少なくても測定できる方法はないかというところで工夫してみた。今後は装置をよりコンパクトで、角度調節が容易にできるように工夫する必要がある。しかし、大がかりなこの装置で、流速を少なくすると蛇行するので、流路に砂を入れたら、内側に砂がまかれ、外側に砂がたまり、観察できず、毎度、この單元での学習に役立っている。コンパクトな装置でよいものがあつたら、是非お知らせいただきたい。

(訂正)
 オ八十八号「理科教育に思う」の木崎先生の記事で「五十二年度から一部移行措置が実施」とありますが、「五十二年度から」の誤りでしたので訂正します。

あ と が き
 本年度の主な活動報告

本年度の主な活動報告

あ と が き
 本年度の主な活動報告

本年度の主な活動報告

あ と が き
 本年度の主な活動報告

本年度の主な活動報告